

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長: 李東建 / ガバナー: 真下和男

会長: 小林 一好 / 幹事: 小椋 剛

クラブ会報委員会

委員長: 境野 登章 / 副委員長: 持田 朋春

委員: 滝田 芳人 / 福島 伸悦 /

例会日: 月曜日

午後 12:30開会

会場: 行田市教育文化センター
「みらい」文化ホール

2008-2009 国際ロータリーテーマ

「夢をかたちに」



第2112回 第四十一回 例会 (2009年5月4日)

☆☆☆白河・桑名・行田サミット☆☆☆

行田市市制施行60周年記念 白河・桑名・行田サミット



2009. 5. 4 行田市教育文化センター
「みらい」文化ホール



★開場

★三市紹介スライド上映

★開会



★主催者挨拶
行田ロータリークラブ
小林一好会長



★共催者挨拶
行田市 工藤正司市長

★ご来賓紹介



~~~~第一部~~~~ 記念講演

演題 「のぼうの城」  
講師 和田竜様



~~~~第二部~~~~ パネルディスカッション

テーマ 「歴史と観光」

パネラー 白河市長 鈴木和夫様
桑名市長 水谷 元様
行田市長 工藤正司様

コーディネーター 大正大学准教授
塚田良道様

★閉会の言葉 湯本茂作副会長



~~~~その後和田竜先生による、サイン会が行われました~~~~



# ★★★★行田市商工センター★★★★

会場を商工センターに移して、三市の交流会が行われました。

行田ロータリークラブ 古沢勇治会員の司会により、三市の市長その他の方によるご挨拶。

そして懇親会となりました。白河市・桑名市・行田市は友好都市関係にあり、そしてそれぞれのロータリークラブもまた、友好クラブ関係を結んでおります。



# ★★★さきたま火祭り★★★

さらにさきたま火祭り会場へと移動です。この(さきたま火祭り)とは、さきたま古墳公園を会場に毎年5月4日に開催される炎の祭典です。ニギノミコトとコノハナサクヤ姫が古代住居に火を放つ、産屋炎上が古事記を元に再現された会場中を古代ロマンへと誘うお祭りです。本日は天候にも恵まれ、三市のロータリークラブメンバーがひとつになり、そして懇親を深める事が出来た事と思います。





さきたま火祭りも無事に終わり、その後白河ロータリークラブの皆様はバスにてお帰りになりました。  
桑名北ロータリークラブの皆様はホテルに泊まれ、明日は浅草見物の予定です。

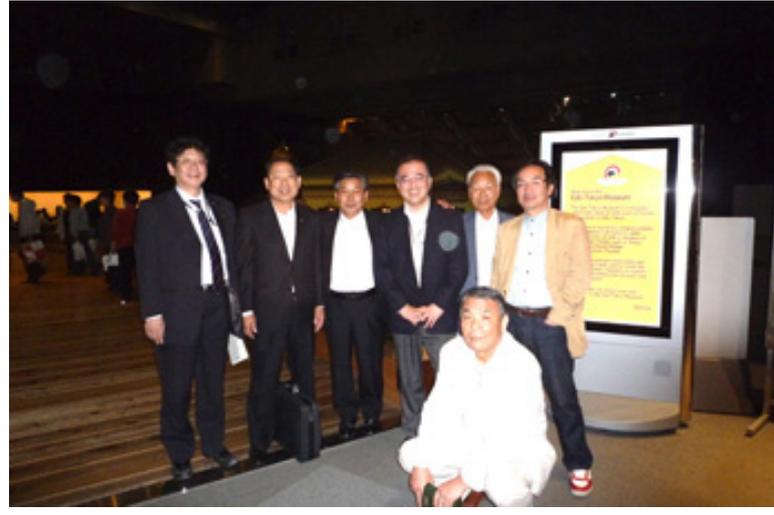




**5月6日(水曜日)**

白河ロータリークラブの方は昨晚のうちに帰られ、桑名北ロータリークラブの方達は昨晚宿泊されました。行田ロータリークラブのメンバー8名にて、桑名北ロータリークラブの方を浅草にご案内致しました。浅草雷門に行きお参りをし、昼食。その後東京博物館に行きました。そして駅構内でお見送りをさせて頂き、帰途に着きました。





# 記念講演 『のぼうの城』



講師

和田 竜  
先生

- 1969年（昭和44年）12月 大阪府生まれ  
東京都立富士高等学校、早稲田大学政治経済学部卒業後  
番組制作会社勤務の後、繊維業界紙で記者を経験
- 2003年（平成15年）12月  
オリジナル脚本『忍ぶの城』で第29回「城戸賞」を受賞
- 2007年（平成19年）12月 同作を自ら小説化、『のぼうの城』出版
- 2008年（平成20年）5月 『忍びの国』出版  
7月 第139回「直木賞」候補（『のぼうの城』）
- 2009年（平成21年）4月 第6回 本屋大賞 第二位（『のぼうの城』）

## 主な著作

- 『忍ぶの城』（脚本）（平成15年）第29回城戸賞受賞
- 『のぼうの城』（平成19年12月 小学館）第139回直木賞候補
- 『忍びの国』（平成20年5月 新潮社）

# パネルディスカッション 『歴史と観光』

## パネラー



白河市長  
鈴木 和夫 様

- 趣味 普通列車ぶらり旅
- 座右の銘 人間万事塞翁ヶ馬

1949年 表郷村（現白河市）生まれ  
2007年 白河市長に就任  
現在に至る

## パネラー



桑名市長  
水谷 元 様

- 趣味 読書、マリンスポーツ
- 座右の銘 初心忘るべからず

1956年 桑名市生まれ  
1996年 桑名市長に就任（3期）  
2005年 初代新桑名市長に就任 現在に至る

## パネラー



行田市市長  
工藤 正司 様

- 趣味 スポーツ全般、読書
- 座右の銘 暁に悟る

1950年 行田市生まれ  
2007年 行田市市長就任  
現在に至る

## コーディネーター



大正大学 准教授  
塚田 良道 様

- 専門 考古学、日本文化史
- 主な著書 『人物埴輪の文化史的研究』 『埴輪の風景』ほか

1961年 妻沼町（現熊谷市）生まれ 博士（文学）  
行田市郷土博物館副館長を経て  
2008年 大正大学文学部准教授 現在に至る

# ご 挨拶

白河・桑名・行田サミット開催にあたり

行田市市制施行60周年を迎えて



行田ロータリークラブ  
会 長  
小 林 一 好

平素は、行田ロータリークラブの活動に御理解御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回、行田市市制施行60周年を記念して、行田市の共催をいただき、三市長によりますパネルディスカッションを「歴史と観光」と題して行います。

三市は、三方領知替えという同じ歴史の絆で結ばれていることから、益々の交流が深まっており、当クラブは白河 RC・桑名北 RC と姉妹クラブを結んでおります。私どもは両市をいく度か訪問し、それぞれの素晴らしさを肌で感じてまいりましたので、是非皆様にも三市の「ゆかり」をより一層御理解いただきたいという願いで、今回のサミットを企画いたしました。また、記念講演を小説「のぼうの城」の著者和田竜先生に行ってくださいます。

皆様本日は、お忙しい中御来場いただき、誠に有り難うございます。

最後に、行田ロータリークラブメンバー一同、皆様方に心より感謝申し上げます。



行 田 市 長  
工 藤 正 司

行田市市制施行60周年を記念して、ここに「白河・桑名・行田サミット」が開催できますことは誠に喜ばしく、行田ロータリークラブをはじめ、関係の皆さまに心から御礼申し上げます。

行田市は、昭和24年に市制を施行して以来、先人のたゆまぬ努力により、今日まで着実に発展を遂げてまいりました。

今後とも、輝かしい歴史・文化・伝統、そして市民の皆さまの笑顔を未来につなげ、個性あふれ活力に満ちた「元気な行田」の実現にまい進してまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、3市が末永く手をつなぎ、ともに限りなく発展できますこと、そして市民の皆さまのご多幸を祈念し、ご挨拶といたします。



忍城へは桑名より松平（奥平）忠堯（ただたか）が移封し、忍藩松平家となる。四代後の松平忠敬（ただのり）の代に廃藩置県を迎え、廃城となる。

徳川家康の関東入部に伴い、四男忠吉が忍城を居城とする。石高は十萬石。以後、酒井忠勝、松平信綱、阿部忠秋と譜代の幕閣が次々と城主となる。一八二三年忍藩阿部家九代正権（まさのり）の時、いわゆる三方領知替えが幕府より命ぜられ、一八三年間にわたって住み慣れた忍から白河へと転封。

親子の降伏により、開城。  
以後、成田氏は一五五三年の北条氏康、一五七四年の上杉謙信による攻撃をしのぎ、一五九〇年成田氏長の代には、「のぼうの城」の舞台となった石田三成の水攻めをも破ったが、小田原城の主家北条氏政・氏直の降伏により、開城。

## 忍 城

古くは、戦国時代初期一四七八年頃、埼玉郡の豪族成田氏（現在の熊谷市上之付近在住）が忍の地に住む豪族、忍一族を滅ぼし、忍城を築城した。

以後、成田氏は一五五三年の北条氏康、一五七四年の上杉謙信による攻撃をしのぎ、一五九〇年成田氏長の代には、「のぼうの城」の舞台となった石田三成の水攻めをも破ったが、小田原城の主家北条氏政・氏直の降伏により、開城。